

平成25年度  
職員提案の概要  
(市長表彰関係)

松山市

## 平成25年度 職員提案の実施状況と市長表彰

創設から5年目を迎えた今回の職員提案は、118件の提案が寄せられた。

提案の実施に向けては、「一人でも多くの人を笑顔に」ということを念頭に置き、所管課等との調整を行ったところ、合計で6件の提案を実施することとなった。

また、業績評価提案においては、既に実施している事業の中で、事業効果が著しいものについて業績評価を行った。

こうした中、職員提案においては、提案内容の企画力や独創性に加え実現性等を、また、業績評価については工夫と業績の度合いを参酌して市長表彰の選定を行った。

この結果として、職員提案の優秀賞は「火災に遭われた方が行う手順の一覧表」のほか2件、また、業績評価の最優秀賞は「若年層の投票率向上に向けた取り組み」を選定し、優秀賞には「南クリーンセンター運営管理事業（電気料金の削減）」を選定した。

さらに、今年度は5年目を迎えた職員提案制度の節目として特別賞を設け、2件の取り組みを選定した。

### 【最優秀賞】

（業績評価）

- ・「若年層の投票率向上に向けた取り組み」（選挙管理委員会事務局）

### 【優秀賞】

（職員提案）

※（ ）内は実施対象課

- ・「火災に遭われた方が行う手順の一覧表」（消防局）
- ・「お遍路さんへの熱中症予防パンフレットの配布」（消防局）
- ・「庁内図書のリポジトリ化」（会計事務局）

（業績評価）

- ・「南クリーンセンター運営管理事業」（清掃施設課 南クリーンセンター）

### 【特別賞】

- ・「ごみ減量リデュース KEEP No. 1 プロジェクト」（環境部）
- ・「職員提案取組件数No. 1」（管財課）

（参考）過去の職員提案件数

平成21年度：383件、平成22年度：227件、平成23年度：269件

平成24年度：178件

## 市長表彰（職員提案・業績評価提案）

### ☆ 最優秀賞

※（ ）は実施対象課

#### 【業績評価】

##### ・若年層の投票率向上に向けた取り組み（選挙管理委員会事務局）

###### 【概要】

大学内に期日前投票所を開設及びfacebookでの選挙に関する積極的な情報発信を通じ、若者にとって選挙をより身近に感じる環境をつくることにより、若年層の投票率の低下に歯止めをかける。

###### 【選定理由】

全国初の取り組みに加え、若年層の投票率向上という成果も出ている。また、職員のアイデアや工夫が感じられ、経費もなるべく抑えており、費用対効果と市民サービスの向上に寄与した点を評価し、最優秀賞として表彰する。

### ☆ 優秀賞

#### 【職員提案】

##### ・火災に遭われた方が行う手続の一覧表（消防局）

###### 【提案概要】

火災に遭われた方が手続を行わなければならない事項を一覧表にして被害者に渡すことにより、市民サービスの向上を図る。

###### 【選定理由】

火災に遭われて困っている方のために、各種手続や支援措置をわかりやすくまとめることにより、市民サービスの向上と、各課においても手続の情報共有が図られ、適切な対応が可能になるなど業務改善にも寄与する点を評価し、優秀賞として表彰する。

## ☆ 優秀賞

### 【職員提案】

#### ・お遍路さんへの熱中症予防パンフレットの配布（消防局）

##### 【提案概要】

お遍路さんに安全・無事に巡礼していただくため、お遍路さん向けに熱中症の予防や簡単な応急手当の方法を内容とするパンフレットを市内のお寺に配布する。

##### 【選定理由】

お遍路さんが無事に巡礼ができるようにサポートする取り組みとして、熱中症の予防や簡単な応急手当の方法を内容とするパンフレットをお寺や支所等に配布することで、巡礼者の安全安心に寄与するとともに、おもてなし日本一のまち松山に向けた取り組みとしても評価し、優秀賞として表彰する。

#### ・庁内図書データベース化（会計事務局）

##### 【提案概要】

各課が保有する備品図書をデータベース化し、共有できるようにする。

##### 【選定理由】

どの課にどのような備品図書があるか容易に把握できることにより、事務の効率化に効果があると考えられることから、優秀賞として表彰する。

### 【業績評価】

#### ・南クリーンセンター運営管理事業（清掃施設課 南クリーンセンター）

##### 【提案概要】

蒸気を有効に利用できるよう発電制御方法を変更して、発電電力量を増加させ、購入電力量の減少を図る。

##### 【選定理由】

未使用の蒸気を活用できるよう発電制御方法を変更したことにより、センター稼動に必要な電力を賄うだけでなく、売電まで可能にしたことで、費用対効果を高めた点を高く評価し、優秀賞として表彰する。

## ☆ 特別賞

### ・ごみ減量 リデュース KEEP No. 1 プロジェクト（環境部）

#### 【取組内容】

市民・事業者・行政が一体となってごみの適正処理やごみの減量に取り組んだ結果、ごみ排出量の推移は減少傾向を続けており、『ごみを”たから”に変えるまち』を目指し、環境部各課が事業に取り組んでいる。

#### 【選定理由】

ごみの分別方法やリサイクルの普及啓発に環境部全体で取組み、平成18年度から平成24年度まで、「50万人以上の都市で1人1日あたりのごみ排出量が最も少ない都市」を7年連続で維持していることを高く評価し、特別賞として表彰する。

### ・職員提案取組件数No. 1（管財課）

#### 【取組内容】

職員提案制度が創設されて5年間で、最も多くの件数（182件）に対し、実施に向けて積極的に取組んだ。

#### 【選定理由】

5年間で最も多く職員提案の実施に向けて取組み、その積極的な姿勢を評価し、特別賞として表彰する。

